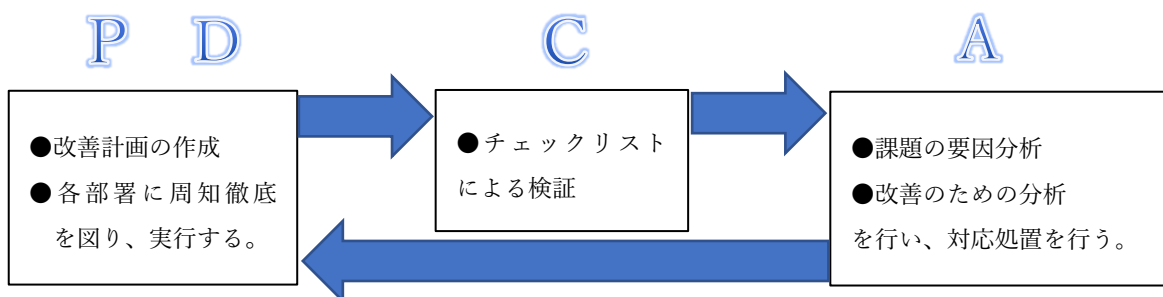


虐待防止・身体拘束等の適正化のための体制整備に向けたチェックリスト

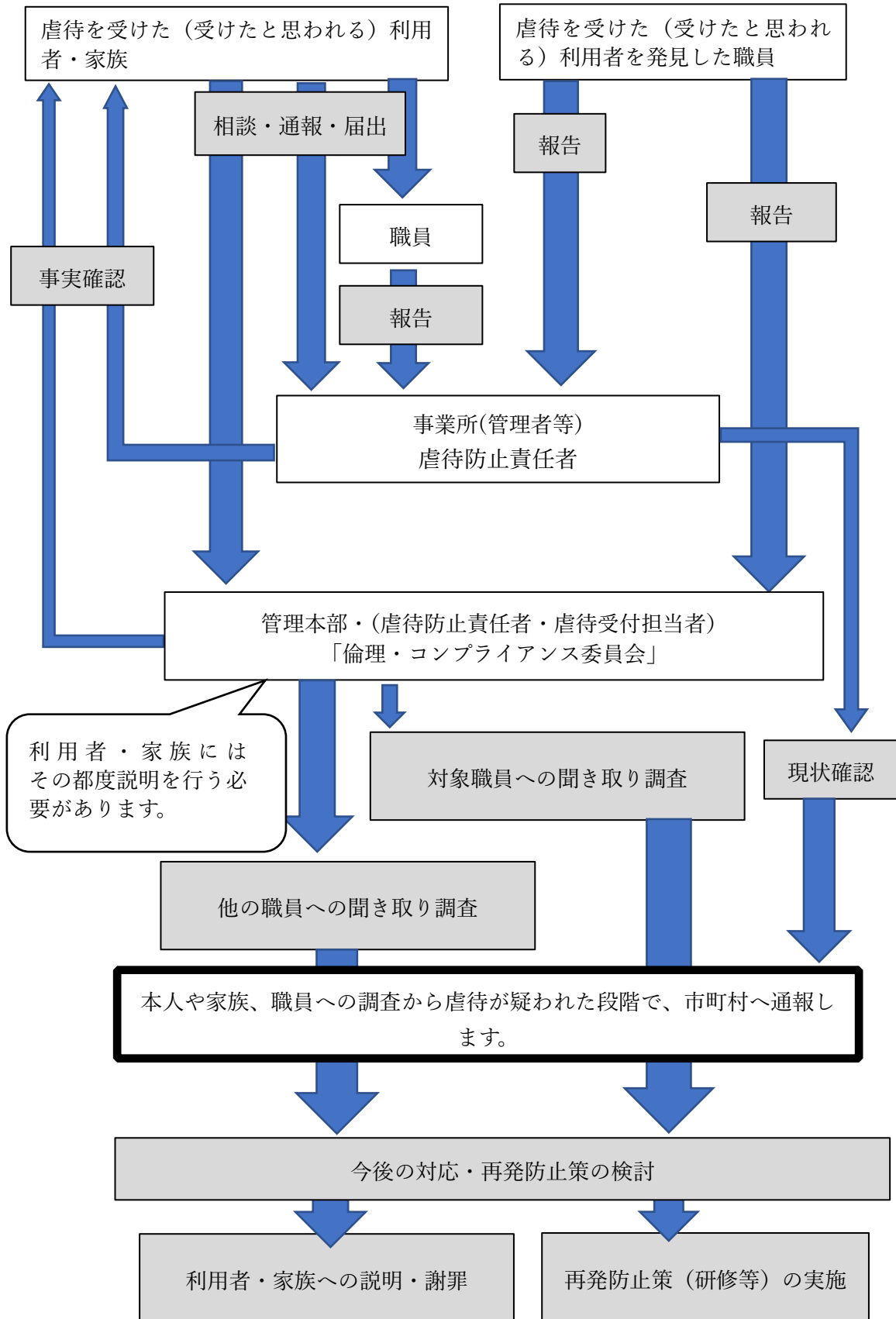
(虐待の未然防止・早期発見・早期対応のために…職員等のための自己チェックリスト)

- ◆このチェックリストは、職員が自覚しながら職場や支援の実際を振り返るための一つの研修ツールとして作成しました。
 - ◆チェックリストを活用した自己評価を定期的に行い、その結果を組織として分析して問題点を明確にした上で作成した改善計画に一定期間取り組み、再度チェックリストによる検証を行うものです。
 - ◆P (計画) D (実行) C (確認) A (対応処置) サイクルを繰り返し継続的に実施します。
 - ◆チェックリストは、管理職用と職員用がありますが、両方をやることで、それぞれの認識のズレを確認することもできます。
 - ◆複数のチェックリスト用意してありますので事業所に合った書式を利用してください。
- ◇虐待発生又はその再発を防止するため、委員会及び研修等を実施しています。
- (1)虐待の防止の対策を検討する委員会(虐待防止委員会)(身体拘束等適正委員会)を毎月開催しています。(年1回以上)また、委員会で用いられた研修資料や結果等について事業所毎の会議等やホームページ等において従業者へ周知を行っています。
 - (2)職員に対して虐待防止など研修を年4回定期的に開催していきます。
 - (3)虐待防止及び身体的拘束等の適正化のため指針を整備・公表しています。



※自分がされたら嫌なことを利用者にしていませんか。常に相手の立場で、適切な支援を心がけましょう。

虐待の相談、通報があったら…(対応方法)



[管理職用]虐待防止のための組織体制 チェックリスト

内容	回答	
虐待防止委員会の設置・検討結果の周知徹底		
・ 虐待防止委員会を設置している（事業所の規模に応じて、事業所単位でなく、法人単位での委員会設置も可能）※以下、役割	はい	いいえ
・ 虐待防止委員会は定期的（最低年1回以上）に開催している	はい	いいえ
・ 虐待防止委員会の構成員の責務及び役割分担が明確である	はい	いいえ
・ 虐待防止委員会の構成員には、利用者やその家族、専門的な知見のある外部の第三者等が含まれるよう努めている	はい	いいえ
<p>・ 虐待防止委員会での検討結果を周知徹底している</p> <p>※具体的には、以下の対応を想定</p> <p>ア 虐待（不適切な対応事例も含む）が発生した場合、当該事案について報告するための様式を整備</p> <p>イ 職員は、虐待の発生ごとにその状況、背景等を記録するとともに、アの様式に従い、虐待を報告する</p> <p>ウ 虐待防止委員会において、イにより報告された事例を集計し、分析する</p> <p>エ 事例の分析に当たっては、虐待の発生時の状況等を分析し、虐待の発生原因、結果等を取りまとめ、当該事例の再発防止策を検討する</p> <p>オ 労働環境・条件について確認するための様式を整備するとともに、当該様式に従い作成された内容を集計、報告し、分析する</p> <p>カ 報告された事例及び分析結果を職員に周知徹底する</p> <p>キ 再発防止策を講じた後に、その結果を検証する</p>	はい	いいえ
虐待防止責任者を配置		
選任の虐待防止責任者（必置）を決め、配置している	はい	いいえ
職員への研修の実施		
<p>・ 虐待防止のための研修を定期的（年1回以上）に実施している</p> <p>※施設内で行う職員研修及び協議会又は基幹相談支援センター等が実施する研修に参加した場合でも差し支えない</p>	はい	いいえ
・ 研修の実施内容について記録している	はい	いいえ
・ 新規採用時には、必ず虐待防止のための研修を実施している	はい	いいえ
虐待防止のための指針の整備		
<p>・ 以下の項目を盛り込んだ、虐待防止のための指針の作成に努めている</p> <p>ア 事業所における虐待防止に関する基本的な考え方</p> <p>イ 虐待防止委員会その他施設内の組織に関する事項</p> <p>ウ 虐待防止のための職員研修に関する基本方針</p> <p>エ 施設内で発生した虐待の報告方法等の方策に関する基本方針</p> <p>オ 虐待発生時の対応に関する基本方針</p> <p>カ 利用者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</p> <p>キ その他虐待防止の適正化の推進のために必要な基本方針</p>	はい	いいえ

【管理職用】 身体的拘束等の適正化のための組織体制チェックリスト

内容	回答	
身体拘束等を行う場合の必要事項の記録		
<ul style="list-style-type: none"> 緊急やむを得ない場合に身体拘束等を行う場合、態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録している ※利用者または他の利用者の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束等を行ってはならない 	はい	いいえ
虐待防止委員会の構成員には、利用者やその家族、専門的な知見のある外部の第三者等が含まれるよう努めている		
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会を設置している ※事業所の規模に応じて、事業所単位でなく、法人単位での委員会設置及び虐待防止委員会と一体的に設置・運営も可能である 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会を定期的（最低年1回以上）に開催している 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会の構成員の責務及び役割分担が明確である 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会の構成員は事務所に従事する幅広い職種により構成している 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会には、第三者や専門家（医師（精神科専門医等）、看護職員等）を活用するよう努めている 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会では、身体拘束等についての報告するための様式を整備している 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会は、職員より報告された事例を集計・分析し、当該事例の適正化と適正化策を検討している ※職員は、身体拘束の発生ごとにその状況、背景等を記録するとともに、様式に従い、身体拘束等について報告する ※事例の分析にあたっては、身体拘束等の発生原因、結果等を取りまとめる 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会で報告された事例及び分析結果を職員に周知徹底してる 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束適正化委員会では適正化策を講じた後にその効果について検証してる 	はい	いいえ
職員への研修の実施		
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束等の適正化の研修を定期的に（年1回以上）実施している 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 新規採用時には、必ず身体拘束等の適正化の研修を実施している 	はい	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 研修の実施内容の記録を行っている 	はい	いいえ
身体拘束等の適正化のための指針の整備		
<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束等の適正化のための指針が整備されている 	はい	いいえ
指針には以下を盛り込んでいる ア 事業所における身体拘束等の適正化に関する基本的な考え方 イ 身体拘束適正化委員会その他事業所内の組織に関する事項 ウ 身体拘束等の適正化の研修に関する基本方針 エ 事業所内で発生した身体拘束等の報告方法等の方策に関する基本方針 オ 身体拘束等発生時の対応に関する基本方針 カ 利用者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 キ その他身体拘束等の適正化の推進のために必要な基本方針	はい	いいえ

[管理職用] 虐待防止のためのセルフチェックリスト

自己チェックリスト(管理職員用)				
1	企業行動指針(倫理要領)・行動基準(行動規範)を定めている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
2	企業行動指針・行動基準について職員への周知が出来ている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
3	虐待防止に関する指針を作成している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
4	虐待防止に関する指針について、職員に周知しているとともに活用している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
5	緊急やむを得ない場合の場合の身体拘束等について、利用者(ご家族等)に説明を行い、事前に同意を得ている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
6	身体拘束について検討する場を定期的に設けている	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
7	緊急やむを得ない場合の身体拘束等について、利用者(ご家族等)に説明を行い、事前に同意を得ている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
8	関係者(担当者)会議は、利用者の参加を得て実施している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
9	職員に対して、虐待防止に関する研修や学習を実施している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
10	日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
11	職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 該当しない
12	「福祉サービス第三者評価事業」を活用しサービスの向上に努め一定期間ごとに継続して受審している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 該当しない
13	名古屋市介護サービス事業者自己評価・ユーザー評価事業を活用しサービスの向上に努め一定期間ごとに継続して参加している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 該当しない
14	介護サービス情報の公表制度を活用しサービスの向上に努め一定期間ごとに継続して受審している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> 該当しない
15	虐待防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他施設職員等による評価、チェックを受けている(第三者評価事業を除く)	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
16	施設・事業所の事業監査において虐待防止に関わるチェックを実施している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
17	所属事業所において、ボランティアの受け入れを積極的に行っている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
18	所属事業所において、実習生の受け入れを積極的に行っている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
19	家族、利用希望者の訪問・見学は随時受け付けている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
20	虐待防止に関する責任者を定めている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
21	虐待防止や権利擁護に関する委員会を法人内に設置している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
22	苦情相談窓口を設置し、利用者等から分かりやすく案内をするとともに、苦情解決責任者等を規定等に定め、利用者から苦情解決に努めている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
23	苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者からの苦情解決に努めている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
24	職員が支援等に関する悩みを相談することのできる相談体制を整えている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない
25	虐待事案の発生時の対応方法を具体的に文章化等している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> わからない

※記入終了後は部署で保管をしてください。チェック項目で疑似等ある場合は、委員会等で質問をしてください。

【職員用】 虐待防止のためのセルフチェックリスト

自己チェックリスト(職員員用)			
1	利用者への対応受け答え、挨拶等は丁寧に行うように日々心掛けている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2	利用者の人柄を尊重し、接し方や呼称に配慮している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
3	利用者への説明はわかり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
4	利用者の個人情報については、慎重に取り扱うようにしている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5	利用者本人に関わることは、本人と話し合っ決めて決めるようにしている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
6	利用者の意見、訴えに対し無視や否定的な態度をとらないようにしている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
7	利用者を長時間待たせないようにしている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
8	利用者の嫌がることを強要するような支援、訓練等はおこなわないようにしている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
9	いつも清潔で爽やかな服装、身なりで利用者に接している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
10	職員同士、相互に尊重しあいながら仕事をしている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
11	上司は気軽に話せて、相談しやすい雰囲気である。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
12	同じ部署の職員同士、気軽に話せて、相談しやすい。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
13	事業所は笑顔にあふれ、皆すれ違う時も自然に挨拶が出来ている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
14	福祉に携わることにやりがいを感じている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
15	虐待を目撃した時の通報の仕組みについて説明を受け理解している。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
16	ある特定の利用者に対して、ぞんざいな態度、受け答えをしてしまうことがある。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
17	ある特定の職員に対して、ぞんざいな態度、受け答えをしてしまうことがある。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
18	他の職員の利用者に対応について、問題があると感じることがある。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
19	自分の普段行っている支援が不適切な支援に当たるのではないかと思う時がある。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
20	他の職員が、虐待と思われる行為を行っている場面を見たことがある。 = 20番で「はい」と回答した方のみ、以下「21番」へ記入してください。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
21	いつ頃、どこで、誰が、誰に対してどのような虐待を行っていたか、以下へ具体的に記入してください。		

※セルフチェックシート記入おわりましたら、所属長へ提出してください。(無記名可)

自己チェックリスト[管理職用] [実施日:] [実施者]

指針、マニュアルやチェックリスト等の整備	ある	なし
① 企業行動指針(倫理綱領)、行動基準(行動規範)、虐待防止指針を定め、職員へ周知が出来ているか。		
② 虐待防止指針やチェックリスト等についてについて、職員に周知徹底すると共に活用しているか。		
③ 緊急やむを得ない場合の身体的拘束等の手続き、方法を明確にし、利用者や家族に事前に説明を行い、同意を得ているか。		
④ 個別支援計画書等を作成し、適切な支援を実施しているか。		
⑤ 利用者の家族から情報開示を求められた場合は、いつでも応じられるようにしている。		
風通しの良い職場環境づくりと職員体制	ある	なし
① 職員会議等で情報の共有と職員間の意思疎通が図られている。		
② 上司や職員間のコミュニケーションが図られている。		
③ 適切な職員配置ができています。		
職員への意思啓発と職場研修の実施	ある	なし
① 職員への人権等の意識啓発が行われている。		
② 職員の人権研修等が開催されている。		
③ 職員の自己研さんの場が設けられている。		
利用者の家族との連携	ある	なし
① 利用者の家族等と定期的に連絡調整が図られている。		
② 利用者家族と支援目的が共有できている。		
③ 職員として利用者の家族から信頼を得られている。		
外部チェック	ある	なし
① 虐待の防止や権利擁護について、外部専門家による職員の評価、チェックを受け入れている。		
② 事業所の監査において、虐待防止に関わるチェック等を実施している。		
③ 地域ボランティアの受け入れを積極的に行っている。		
④ 実習生の受け入れや職場見学を随時受け入れている。		
苦情、虐待事案への対応等の体制整備	ある	なし
① 虐待防止に関する責任者を定めている。		
② 虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。		
③ 職員の悩みを相談できる相談体制を整えている。		
④ 事業所内で虐待事案の発生時の対処方法再発防止策等を具体的に文書化している。		

自己チェックリスト[職員用] [実施日:] [実施者]

利用者への体罰など		よくある	時々ある	ない
①	利用者に対して殴る、ける、その他けがをさせるような行為をおこなったことがある。			
②	利用者に対して、身体的拘束や長時間正座・直立等の肉体的苦痛を与えたことがある。			
③	利用者に対して、食事を抜くなどの人間の基本的要求に関わる罰を与えたことがある。			
④	利用者に対して、自分の意思で開けることのできない居室等に隔離したことがある。			
⑤	利用者に対する他の職員の体罰を容認したことがある。			
利用者への差別		よくある	時々ある	ない
①	利用者を子ども扱いするなど、その人の年齢にふさわしくない接し方をしたことがある。			
②	利用者の障がいの程度、状態、能力、性、年齢等で差別したことかせる。			
③	障害者により克服困難なことを、利用者本人の責めに帰すような発言をしたことがある。			
④	利用者の言葉や歩き方等の真似をしたことがある。			
⑤	利用者の行為を嘲笑したり、興味本位で接したことがある。			
利用者に対するプライバシーの侵害		よくある	時々ある	ない
①	職務上知り得た利用者個人の情報を他に漏らしたことがある。			
②	利用者の同意を事前に得ることなく、郵便物等の開封、所持品を確認したことがある。			
③	利用者の了解を得ずに居室、寝室に入ったことがある。			
④	・a(男性職員が)女性利用者の入浴、衣服の着脱、排泄、生理等の介助をしたことがある。			
	・b(女性職員が)男性利用者の入浴、衣服の着脱、排泄等の介助をしたことがある。			
⑤	利用者本人や家族の了解を得ずに、本人の写真や制作した作品を展示したことがある。			
利用者的人格無視		よくある	時々ある	ない
①	利用者呼び捨てあだ名、子供のような故障で呼んだことがある。			
②	利用者に対して、威圧的な態度や命令口調で話したことがある。			
③	利用者の訴えに対して、無視や拒絶をするような行為をしたことがある。			
④	利用者を長時間待たせたり、放置したりしたことがある。			
⑤	担当専門医師の指示によらず職員自らの判断で薬物を使用したことがある。			
⑥	まだ十分にトイレで対応できる利用者にもオムツ対応したことがある。			
利用者への強要制限		よくある	時々ある	ない
①	利用者に対して、わいせつな発言や行為をしたことがある。			
②	利用者の作業諸活動に対して、いたずらにノルマを課したことがある。			
③	利用者に嫌悪感を抱かせるような作業・訓練などを強要したことがある。			
④	日用品等の購入を制限したことがある。			
⑤	無理やり食べ物や飲み物を口に入れたことがある。			
⑥	自由な帰省、面会、外出を一方向的に制限したことがある。			

虐待防止チェックリスト[職員用](通所施設) [実施日:][実施者]

通所者への体罰など		よくある	時々ある	ない
①	通所者に対して殴る、ける、その他けがをさせるような行為をおこなったことがある。			
②	通所者に対して、身体的拘束や長時間正座・直立等の肉体的苦痛を与えたことがある。			
③	通所者に対して、食事・おやつを抜くなどの人間の基本的要求に関わる罰を与えたことがある。			
④	通所者に対する他の職員の体罰を容認したことがある。			
通所者への差別		よくある	時々ある	ない
①	通所者を子ども扱いするなど、その人の年齢にふさわしくない接し方をしたことがある。			
②	通所者の障がいの程度、状態、能力、性、年齢等で差別したことがある。			
③	障がいにより克服困難なことを、通所者本人の責めに帰すような発言をしたことがある。			
④	通所者の言葉や歩き方等の真似をしたことがある。			
⑤	通所者の行為を嘲笑したり、興味本位で接したことがある。			
通所者に対するプライバシーの侵害		よくある	時々ある	ない
①	職務上知り得た利用者個人の情報を他に漏らしたことがある。			
②	通所者の同意を事前に得ることなく、所持品を確認したことがある。			
③	・ a(男性職員が)女性通所者の衣服の着脱、排泄、生理等の介助をしたことがある。			
	・ b(女性職員が)男性通所者の衣服の着脱、排泄等の介助をしたことがある。			
⑤	通所者本人や家族の了解を得ずに、本人の写真や制作した作品を展示したことがある。			
通所者の人格無視		よくある	時々ある	ない
①	通所者を呼び捨てあだ名、子供のような故障で呼んだことがある。			
②	通所者に対して、威圧的な態度や命令口調で話したことがある。			
③	通所者の訴えに対して、無視や拒絶をするような行為をしたことがある。			
④	通所者を長時間待たせたり、放置したりしたことがある。			
⑤	担当専門医師の指示によらず職員自らの判断で薬物を使用したことがある。			

利用者への強要制限		よくある	時々ある	ない
①	通所者に対して、わいせつな発言や行為をしたことがある。			
②	通所者の作業諸活動に対して、いたずらにノルマを課したことがある。			
③	通所者に嫌悪感を抱かせるような作業・訓練などを強要したことがある。			
④	家族友人等への電話や手紙など連絡を制限したことがある。			

注 1 について 差別ではないが、通所者の障がい程度、状態、能力、性、年齢等により支援の別を付けざるを得ない。

注 2 について 通所者の言葉や歩き方等の真似を悪意を持ってするわけでは無いが、支援の為に客観的に本人に周知する必要があるが生じた場合、したことがある。

注 3 について 着替えや事業所に提出する書類等を自ら取り出すことが困難な利用者などのカバンを確認することがある。

注 4 について 女性職員が男性通所者(小学校低学年また肢体不自由児については、小学校 6 年生まで)に対し、同性介助ではない事がある。

注 5 について 利用者が児童に限定されている為、保護者や本人の許可を得て、通所者を呼び捨てやあだ名、子どものような呼称で呼ぶことがある。

注 6 について 通所者の注意引き行動などの場合無視ではないが、支援の一環として間接視野のみの見守りとする場合がある。

高齢者虐待防止のための組織体制チェックリスト

組織体制をチェックして、高齢者虐待の防止に努めましょう。あてはまるチェック欄に○をつけてください。「ない」「わからない」とついで項目について、これからどのように取り組むのかを考えることが大切です。管理職が運営体制の見直しや事業計画立案を行うにあたり、全職員の無記名チェックの結果を分析して参考にすると、効果的であると思われまます。

番号	チェック項目	チェック欄(○)		
		ある	ない	わからない
1	組織の理念、倫理要綱、行動規範等を学ぶ機会がある。	ある	ない	わからない
2	ボランティアや実習生の意見を、ケアや体制整備活かしている。	している	していない	わからない
3	利用者の満足度や意見を把握する機会や取組を実施している。	している	していない	わからない
4	個別ケア・認知症ケアの改善を言い出しやすい雰囲気がある。	している	していない	わからない
5	個別ケア・認知症ケアの改善を言い出しやすい雰囲気がある。	ある	ない	わからない
6	ヒアリングの内容を分析して傾向を把握し、職員間で共有している。	ない	ある	わからない
7	勤務体制や職員の相談体制等、職場環境の改善を積極的に推進している。	している	していない	わからない
8	外部研修や内部研修の伝達研修や研修レポート等が実際のケアや体制に行かされている。	している	していない	わからない
9	職員の虐待防止に対する意識や日々のサービス提供等の状況把握が行われている。	している	していない	わからない
10	職員の虐待防止に対する意識や日々のサービス提供等の状況把握が行われている。	している	していない	わからない
11	苦情相談窓口を設置し、利用者等にわかりやすく案内している。	している	していない	わからない
12	組織内で職員が孤立しない様な体制作りを行っている。	している	していない	わからない
13	職員が内部研修に参加しやすい配慮(時間、回数、職務としての参加等)がある。	ある	ない	わからない
14	職員が組織内の委員会活動を積極的に行いやすい体制になっている。	している	していない	わからない
15	職員一人ひとりの研修ニーズを明確化して、研修計画が策定されている。	している	していない	わからない
16	利用者の金銭や貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとになされている。	している	していない	わからない

虐待の芽チェックリスト(訪問サービス版)

虐待の芽や不適切ケアを事故チェックして、高齢者虐待を防止しましょう。あはまるチェック欄に○をつけてみてください。

番号	チェック項目	チェック欄(○)		
1	利用者に友達感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
2	利用者に対して、アセスメント・居宅サービス計画・介護サービス計画に基づかず、あだ名や○○ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
3	利用者に対して、威圧的な態度、命令口調(「○○して」「ダメ」など)で接していませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
4	利用者への声掛けなしに介助していませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
5	プライバシーに配慮せず、職員や関係機関同士で話題にしたり、個人情報を取り扱ったりしていませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
6	利用者に対して「ちょっと待って」を乱用し、長時間待たせていませんか?	いる	いない	(自分以外で) 該当する人がいる
7	利用者に意思・意向を確認しないまま勝手に私物を捨てたり、片付けたりしていませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
8	利用者の呼びかけを無視したり、意見や訴えに否定的な態度をとったりしていませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
9	食事や入浴介助の無理強いなど、介護方法を工夫しないままに利用者に嫌悪感を抱かせるような援助を強要していませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
10	利用者や身体で遊んだり、人格を無視した関わり(落書きをする、くすぐるなど)をしたりしていませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
11	利用者や利用者家族の言動をあざ笑ったり、悪口を言ったりしていませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
12	利用者やその家族と、者やお金の貸し借り・授受をしていませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
13	他の職員・関係機関等に対して、利用者に関わることについて相談できない等、職場・関係機関でのコミュニケーションがとりにくくなっていませんか?	とりにくい	良好	(自分以外で) 該当する人がいる
14	家族がおこなっている不適切ケアについて、誰にも連絡せずにそのままにいませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる
15	居宅サービス計画の内容に課題がある、利用者への支援体制に課題があると感じても、居宅支援専門員に連絡・相談せず、そのままにいませんか?	している	していない	(自分以外で) 該当する人がいる

虐待の芽チェックリスト(入所施設版)

虐待の芽や不適切ケアを事故チェックして、高齢者虐待を防止しましょう。あはまるチェック欄に○をつけてみてください。

番号	チェック項目	チェック欄(○)		
1	利用者に友達感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか?	している	していない	見たこと・聞いたことがある
2	利用者に対して、アセスメント・施設(居宅)サービス計画・介護サービス計画に基づかず、あだ名や○○ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていませんか?	している	していない	見たこと・聞いたことがある
3	利用者に対して、威圧的な態度、命令口調(「○○して」「ダメ」など)で接していませんか?	している	していない	見たこと・聞いたことがある
4	利用者への声掛けなしに介助したり、居室に入ったり、勝手に私物を触ったりしていませんか?	している	していない	見たこと・聞いたことがある
5	プライバシーに配慮せず、職員や関係機関同士で話題にしたり、個人情報を取り扱ったりしていませんか?	している	していない	見たこと・聞いたことがある
6	利用者に対して「ちょっと待って」を乱用し、長時間待たせていませんか?	いる	いない	見たこと・聞いたことがある
7	利用者に必要な日用品(眼鏡、義歯、補聴器など)や道具(コールボタンなど)が壊れていたり、使えなかったりしていませんか?	している	していない	—
8	利用者の呼びかけやコールを無視したり、遺子訴えに否定的な態度をとったりしていませんか?	している	していない	見たことがある
9	食事や入浴介助の無理強いなど、利用者に嫌悪感を抱かせるような援助を強要していませんか?	している	していない	見たことがある
10	利用者や身体で遊んだり、人格を無視した関わり(落書きをする、くすぐるなど)をしたりしていませんか?	している	していない	見たことがある
11	利用者や利用者の家族の言動をあざ笑ったり、悪口を言ったりしていませんか?	している	していない	聞いたことがある
12	プライバシーへの配慮に欠けたケア(排泄について大声で話す、カーテンを開けたまま排泄ケアをする等)をしていませんか?	している	していない	見たことがある
13	利用者に対して乱暴で雑な介助や、いい加減な態度・受け答えをしていませんか?	とりにくい	良好	見たこと・聞いたことがある
14	他の職員に仕事に関わる相談ができない等、職場でのコミュニケーションがとりにくくなっていませんか?	している	良好	—
15	他の職員が行っているサービス提供・ケアに問題があると感じることがありませんか?	ある	ない	—

研修議事録(ひな形)

月日	年 月 日	時間	
部署			
場所			
出席者			
議事進行者			
記録者			
虐待防止に関する研修・会議			
まとめ			
次回検討事項について			